

電波利用セミナー「電波利用によるデジタル化と北陸の暮らし・未来」を開催

総務省北陸総合通信局（局長 小津 敦）は、令和5年3月9日（木）、北陸情報通信協議会（会長 金井 豊 北陸経済連合会会長）及び一般財団法人全国地域情報化推進協会（理事長 吉田 真貴子）との共催により、電波利用セミナー「電波利用によるデジタル化と北陸の暮らし・未来～5G/6Gによる地域の課題解決と創造に向けて～」を金沢市にて開催し、約80名が参加しました。

本セミナーは、北陸地域のデジタル化推進に貢献することを目的に、我が国の電波政策の最新動向や電波を用いたデジタル化に先進的に取り組んでいる自治体や企業の事例を紹介しました。

第1部では、総務省総合通信基盤局 電波部 電波政策課 荻原 直彦 課長から「電波政策の最新動向」について、徳島県 政策創造部 地方創生局 デジタルとくしま推進課 課長 木野内 敦 氏から「ローカル5Gによる地域課題解決」について、北陸電気工事株式会社 本店 外線送変電部 副部長 澤井 俊夫 氏から「電波利用によるL5G・DXの取り組み」について、高桑美術印刷株式会社 商品開発部 参与 三納 哲也 氏から「酒造業界におけるRFIDタグの活用について」について、それぞれ講演がありました。

第2部では、「デジタル化による暮らし・未来について」をテーマに、北陸情報通信協議会 副会長 大藪 多可志 氏がコーディネーターを務める中、第1部の講演者4名のパネルディスカッションを行いました。各パネリストが自らの経験に基づき、デジタル化を進める上で苦労した点、デジタル化に際して重要と考える点、人材育成で苦労した点等の共通の質問に回答し、デジタル化の課題について重層的な意見交換を行いました。また、パネリストからは、関係者間のこだわりがぶつければ、予期せぬ新たな「化学反応」が期待できるといったアドバイスもありました。

本セミナーを通じて、地域課題解決に向けた電波利用の取り組みについて、参加者の理解を深めることができました。



パネルディスカッションの様子



コーディネーター
北陸情報通信協議会 副会長
大藪 多可志 氏



総務省 電波政策課 荻原 直彦 課長



徳島県 木野内 敦 氏



北陸電気工事株式会社 澤井 俊夫 氏



高桑美術印刷株式会社 三納 哲也 氏